

ぼうけん なぞと  
冒険・謎解きブック

きくちじょう

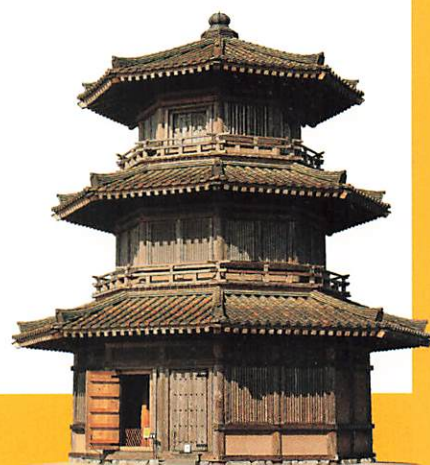
鞠智城を  
探ろう！

約300年も続いた鞠智城は  
その歴史の中で、役割が変化していきました。  
鞠智城ができた時から、なくなる時代までの  
移り変わりをみていきます。



第6号

鞠智城の移り変わり





# しせつ 日本を守る施設から、食糧 300年の間に鞠智城の役割や姿は



兵士が寝起きた建物

時間を知らせたり、見張りをした建物

700年

イラスト 早川和子

650年

第Ⅰ期



第Ⅱ期



第Ⅲ期



第Ⅳ期



800年

698年  
「鞠智城を修理した」と、記録に残っています。

## 第Ⅰ期

### 鞠智城が築かれた時期

日本が白村江の戦いに負けた後、唐・新羅が日本に攻めてくることに備えて鞠智城が築られました。当時の九州の中心であった大宰府を後方支援する城であったと考えられています。



■土塁  
鞠智城の周囲は土を盛って造った土塁と呼ばれる城壁で囲まれていました。この城壁で敵の侵入を防ぎました。

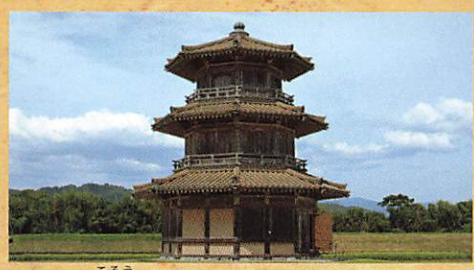
■兵舎(復元建物)  
長屋風の建物で、鞠智城の守りにつた約50人の兵士が寝泊まりしていたと考えられます。



## 第Ⅱ期

### 鞠智城が栄えた時期

城を管理する役所風の建物や、八角形建物などのたくさんの建物が建てられた時期です。土器などの遺物はこの時期のものが最も多く見つかっています。鞠智城が一番充実していた時期といえます。

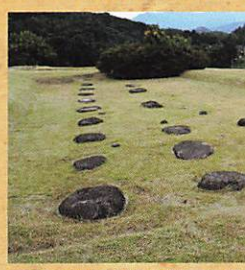


■八角形鼓楼(復元建物)  
平面が八角形の形をした3階建ての建物です。鼓で時間を知らせたり、見張りをしていたと考えられています。

## 第Ⅲ期

### 鞠智城変化し

この時期に穴を掘って物から、柱の下に大きな建物に変わります。どの遺物はほとんど見鞠智城の役割が変化して



■49号建物跡(礎石建物)  
この時期に出現する礎石建。大きな礎石建物で、重要な考えられています。



# を保管する倉庫へ。 変わっていきました。

## クイズに挑戦!

### クイズ-1

鞠智城の八角形建物が  
作られたのは  
いつの時期でしょう。

- 1.紀元前1000年ごろ
- 2.西暦700年ごろ
- 3.西暦1800年ごろ

### クイズ-2

鞠智城は、途中からある物を  
保管する場所に役割を変えました。  
保管されていたのは何?

- 1.おもちゃ
- 2.小判(こぼん)
- 3.お米

### クイズ-3

鞠智城は  
いつの時代まで  
続いたでしょう?

- 1.明治時代
- 2.平安時代
- 3.旧石器時代



米を保管した倉庫



イラスト 早川和子

879年「城の戸がひとりでに鳴った」と、  
記録に残っています。

858年

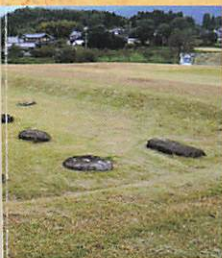
「城の鼓がひとりでに鳴り、  
米倉が火事になった」と、  
記録に残っています。

第Ⅴ期

900年

## の役割が ていく時期

柱を建てる構造の建  
な石(礎石)を置く構造  
Ⅱ期と比べると土器な  
つかっていません。鞠  
いく時期です。



物です。鞠智城内で最も  
ものを納めていた倉庫と

## 第Ⅳ期

## 鞠智城の役割が 大きく変わった時期

建物が大型化し、米などを納める倉が多く  
建ち並んでいた時期です。敵の攻撃に備え  
る城から米などの食糧を保管する場所に  
鞠智城の役割が変わりました。



■米倉(復元建物)

米を保管していた倉庫です。発掘調査では、建物の  
跡から焼けた米が多く見つかっており、火事で焼失  
した可能性が考えられています。

## 第Ⅴ期

## 鞠智城がその役目を 終える時期

食料を保管する場所として続きますが、建物  
は少なく、10世紀中頃(西暦950年頃)の  
平安時代中頃には城としての長い歴史を終  
えたと考えられます。







イラスト 早川和子



米倉が焼けた様子

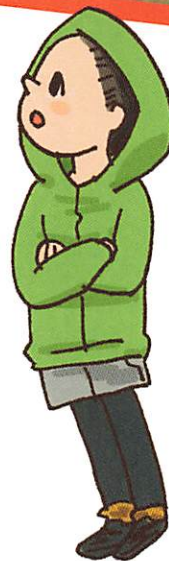
よな ばる ちょう じゃ

## 米原長者伝説と、 鞠智城



鞠智城跡から発見された焼けたお米

鞠智城がある熊本県山鹿市菊鹿町米原では、「土を掘ると焼けた米が出てくる」と地元の人々が以前から噂をしていました。そして、この地方では、米原長者という大金持ちの屋敷や蔵が火事になったという「民話」が伝えられています。実際に、鞠智城のこれまでの発掘調査で、米倉があったと考えられる建物の周りから、焼けた米がたくさん出てきました。『文徳実録』という平安時代の歴史書には「鞠智城の米倉が火事になって、たくさんの米が燃えた」と記録されています。土の中に埋まっていた焼けた米は、この時の火事で焼けたものと考えられ、長い年月、土地の人々が語り継ぐ中で、米原長者という民話が生まれたのかもしれません。



この電子書籍は、冒険・謎解きブック鞠智城を探ろう！6 を底本として作成しました。閲覧を目的としていますので、精確な図版などが必要な場合には底本から引用してください。

底本は、古代山城がある市町村教育委員会、熊本県内の市町村教育委員会と図書館、都道府県の教育委員会、考古学を教える大学、国立国会図書館などにあります。所蔵状況や利用方法は、直接、各施設にお問い合わせください。

書名：冒険・謎解きブック鞠智城を探ろう！6 鞠智城の移り変わり

発行：熊本県教育委員会

〒862-8609 熊本市中央区水前寺 6 丁目 18 番 1 号

電話： 096-383-1111

URL：<http://www.pref.kumamoto.jp/>

電子書籍制作日：西暦 2002 年 8 月 18 日